

## 県外派遣報告書

審判員名	大井 陽平	所属	中体連盟	
大会名	第47回 関東中学校バスケットボール山梨大会			
期間	平成29年8月8日～8月10日			
会場	小瀬スポーツ公園体育館 緑が丘体育館			
スケジュール				
期 日	内 容	場 所		
8月8日	審判会議・レクチャー・1回戦	小瀬スポーツ公園体育館		
8月9日	1回戦・2回戦	緑が丘体育館		
8月10日	準決勝・決勝	小瀬スポーツ公園体育館		
会議 講義 内容				
<p><b>[関東ブロック審判長 渡邊 整 氏 栃木県・S級]</b>          この大会は、全国大会に繋がる唯一の大会であり、それに携わる審判員としての自覚をもって取り組んでほしい。また、日本のバスケットボール協会は大きく変化している。それに遅れずに対応していく準備を常に心がけていきましょう。このようにご挨拶頂きました。¥</p> <p><b>[指名審判員 北島 寛臣 氏 埼玉県・S級]</b>          JBA審判部からのガイドラインについて映像を用いながら講義をして頂きました。今回のガイドラインには追加事項等が盛り込まれており、まずは審判員の理解が必要である。「1. 悪い手・腕・肘の整理(HAND-CHECKING含む)」、「2. スクリーンプレイ」、「3. ブロッキング・チャージング」、「5. アンスポーツマンライクファウル」、「8. トラベリング」これらを1試合通して正しく判定していかなければならない。そのために、目の前で起こったプレイが、どの条件に該当するからこの判定を下したというものを明確に持つ。その際にファウルの3原則とRSBQへの影響を考慮した上で判定をする。特に強調されていたのが、明らかなプレイに対しての判定を必ずするという。観客の視点というものを常に入れながらレフリーをしていく。</p> <p><b>[指名審判員 星野 由貴 氏 群馬県・S級]</b>          アンダー・カテゴリーにおける、マンツーマン・ディフェンス・コミッショナーの役割についてと、それに際するレフリー対応について講義をして頂きました。原則的にレフリーはマンツーマン・ディフェンスについて関与せず、赤旗が振られた際に、両ベンチを呼び出し適切な処置を行うこと。そちらに気をとられすぎずに、判定に集中することが最も重要である。</p>				
実技				
担当試合	期 日	8月8日	男子	1回戦
	対戦カード	深川第一 VS 田富		副審
	相手審判	大山 賢史 氏 栃木県・A級		
ミーティング内容		主任	菊池 真吾 氏 群馬県・A級	
<p><b>○プレ・ゲーム・カンファレンス:</b> 大山氏より初めてのパートナーということもあって、タブレットやパンフレットを活用したプレカンをして頂いた。コート上でもこのプレカンのおかげで協力できたことがとても多く、改めてプレカンの大事さとその手段を学ばして頂いた。<b>○アングル:</b> 体の向きが極端で、全体をとらえることのできるアングルを求めムーブしていく必要がある。ただし、足を使って見に行くということではない。<b>○判定:</b> 目の前で起きたことに笛が入っているが、その判定の精査が次のステップでは求められていく。より長い時間プレーに目を当てて判定していく意識を持つ。<b>○プレゼンテーション:</b> 止まってコール・レポートということをもっと意識する。それがより判定に説得力をつけるため、動きにメリハリをさらにつけていく。</p>				
実技				
担当試合	期 日	8月9日	女子	1回戦
	対戦カード	富士学苑 VS 八王子一		副審
	相手審判	岩本 涼子 氏 神奈川県・A級		
ミーティング内容		主任	手塚 清孝 氏 山梨県・A級	
<p><b>○ガイドライン:</b> 1Pの手の使い方の基準を4Pまで一貫して取り上げていく。揺るがずに判定し続ける強さが必要になってくる。ガイドラインのハンドチェックに関しては、チープな笛とは区別すると明記してあるので、それらをプレイヤーに伝えていくことが求められる。<b>○タイムプライマリー:</b> トレイルの時のショットクロックの確認や、時限終わりのタイムプライマリーなどを、プレカンやインターバル中に確認していく。<b>○カテゴリー:</b> 同じ関東でも、男子と女子ではまったく違う難しさがある。特に女子は影響の判断の見極めがより一層必要になってくるので、様々なカテゴリーで男女ともにゲームを経験していく。</p>				
全体の感想				
<p>この度初めて関東大会へ派遣させていただき、他県の方々や講師の方々とお話をさせて頂いたなかで、オンザコート・オフザコート共に自分に足りない部分や課題というものが見つかった3日間でした。また、関東の上級の方々と一緒に過ごさせてもらったり、試合を見させていただいた中で、「判定力」がものをいうということを改めて痛感しました。また、自分に最も足りない部分でもあると再認識しました。初日のレクチャーから実技やディスカッションを通して、多くの方にご指導して頂いたことを今後になかしていきたくです。関東大会の雰囲気やバスケットのレベルの高さを肌身で感じ、より多くの大会でコートに立ちたいと改めて強く思いました。</p> <p>最後になりましたが、開催地の山梨県の皆様には細部にわたるまでご配慮頂きこの3日間大変お世話になりました。また、渡邊整関東ブロック審判長をはじめとする関東審判員の皆様にもご指導など多岐にわたりお世話になりました。この場をお借りして感謝申し上げます。そして今大会へ派遣してくださいました北島寛臣審判長をはじめとする埼玉県協会の皆様と、日頃活動でご指導して下さる先生方に心より感謝申し上げます。今回の経験を一層生かし今後も精進してまいりますので、ご指導の程よろしくお願いたします。</p>				